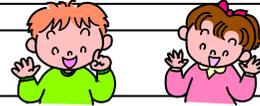




子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



小学生の交通事故に注意！！

県内で、小学生の交通事故が増加しています。本校の校区も大きな道路が走り、交通量も多く危険な個所があります。また、幹線以外でも、脇道も多く、出会い頭やとび出しによる事故が起きやすい個所も多くあります。事故はゼロになるようにしていかなければなりません。過失がなくても事故に巻き込まれる可能性もありますが、自分自身がルールを守ったり注意を払ったりすることで、防げる事故も多くあります。子ども達の大切な命を守るため、学校で、家庭でしっかり取り組んでいきましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

○ 子どもの事故の特徴は？

子どもの交通事故のうちの約半数以上が道路への飛び出しです。それも、子どもが一人で歩いているときに発生しています。自宅付近の道路での事故が多発しています。子どもの事故は、子どもが学校や幼稚園等から帰る午後2時から午後6時の間に多発し、特に、午後4時前後に集中的に発生しています。

○ 子どもの行動特性は？

一般的に、一つのものに注意が向くと周りのものが目に入らなくなる、その時々気分によって行動が変わる、大人の真似をしたり、依存したりして行動することがある。等の行動特性が挙げられます。

○ 子どもの交通事故を防ぐために

子どもの飛び出し事故を防ぐため、通学路や家の周りを子どもと一緒に歩くなどして、危険個所の確認し、安全な歩き方や道路の横断の仕方・信号の見方などを教えてあげましょう。この時、子どもの目線で風景を見ることをおすすめします。大人目線では気付かなかったことが発見できます。また、身近に起きた事故について家庭で話し合い、家族ぐるみで交通ルールとマナーの実践を習慣づけるようにしましょう。

交通安全情報
平成27年No.7

小学生の自転車事故が増加!!

- 小学生が自転車運転中の交通事故件数は、平成27年5月末現在、183件（前年同期比+24件）と増加しています。
- 特に、**出会い頭事故**が、136件（前年同期比+15件、構成率74%）と多発しています。



交通事故防止の基本は、

「一時停止（徐行）と安全確認」

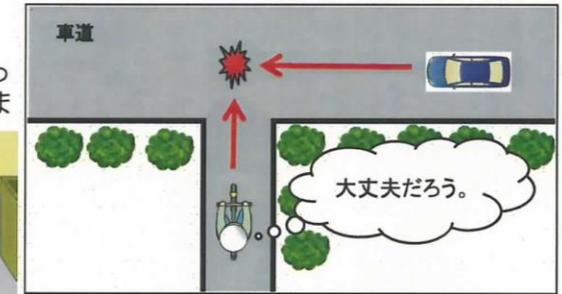
です。

出会い頭事故防止のポイント

1 見通しの悪い交差点では、一時停止（徐行）と安全確認！

交差点で「車は来ないだろう」と油断するのは、非常に危険です。いつも「車が通るかもしれない」と思って、交差点の手前で左右の安全を確認しましょう。

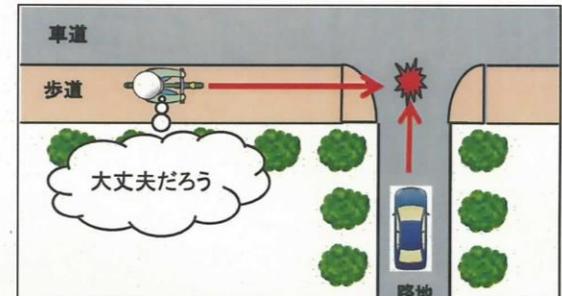
特に、一時停止標識のある場所では、必ず止まって左右の安全を確認しましょう。



2 道路を横断するときは、一時停止（徐行）と安全確認！

歩道を通っているときに、路地と交差している交差点では、路地から出てくる車に十分注意し、スピードを落としたり、一時停止するなどしてから、安全を確認しましょう。

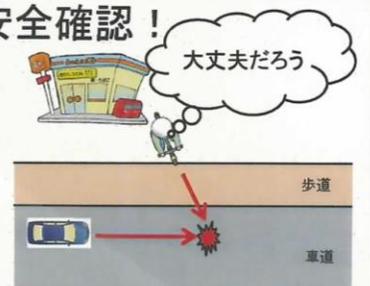
また、車道を右左折して路地に入ろうとする車にも注意が必要です。



3 道路に出るときは、一時停止（徐行）と安全確認！

駐車場などから道路の出るときは、道路を通行する車に十分注意し、道路に出る前に、必ず一時停止して安全を確認しましょう。

また、歩道から道路に出るときも、同じように安全を確認しましょう。



福岡県警察